

本資料は、2024年10月24日（現地時間）、米国カリフォルニア州サンタクララならびにインド・ムンバイで発表されたプレスリリースの日本語訳です。
発表内容の詳細は原文をご覧ください。

URL: www.tcs.com/who-we-are/newsroom/press-release/tcs-launches-nvidia-business-unit-accelerate-ai-adoption-customers-across-industries

TCS、さまざまな業界のお客さまに向けて AI導入の促進を支援するNVIDIAビジネスユニットを新設

TCS グローバルのセンター オブ エクセレンス (CoE)、NVIDIA AI Enterprise や NVIDIA Omniverse などの NVIDIA の AI プラットフォームへの投資、経験豊富な人材を活用し、製造、銀行・金融・保険、通信、小売、自動車といった業界に特化したサービスを提供

サンタクララ | ムンバイ、2024年10月24日：タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、NVIDIA との協働を拡大し、お客さまが人工知能 (AI) をより迅速かつ大規模に導入できるよう支援する業界固有のソリューションとサービスの提供を開始しました。これらのソリューションやサービスは、AI.Cloud (AIドットクラウド) 部門の下に新設された「NVIDIA Business Unit (NVIDIAビジネスユニット)」を通じて提供します。この新部門が提供するサービスは、NVIDIAとTCSの5年以上にわたる協働を礎に、互いの機能を結集・補完し、さまざまな業界に特化しています。

2024年にTCSが実施した「[AI for Business Study \(ビジネスにおけるAI活用についての調査\)](#)」では、世界中の企業がAIの導入にしるぎを削っている実情が明らかになりましたが、AIの導入戦略については社内の合意形成が図られていないことも明らかになりました。AI導入への道のりは企業ごとに異なり、AIとそれぞれの企業が持つ既存機能の連携が必要不可欠です。大規模なAIの導入には、企業とビジネス慣行を深く理解し、状況に合わせてカスタマイズされたAIモデルを構築する必要があります。この度、新設されたNVIDIA Business Unitは、TCSグローバルのセンター オブ エクセレンス (CoE) や、TCSが注力するNVIDIA AIプラットフォーム (アクセラレーテッドコンピューティングやAIソフトウェアを含む)、NVIDIA AI EnterpriseおよびNVIDIA Omniverseプラットフォーム、そして高度なスキルを持つ人材を活用し、企業ごとの状況に応じたAI導入の戦略を設計・提供します。

また、この新部門は、TCS 独自のフレームワークも提供します。このフレームワークでは、深い専門的知見、企業の文脈的知識*、NVIDIA AIテクノロジーを結集し、NVIDIA AI EnterpriseソフトウェアプラットフォームとNVIDIA AI Foundryの一部である NVIDIA NIMマイクロサービスや NVIDIA NIM Blueprintsなどのエージェント型 AI ソリューションを構築・展開し、お客さまに大きな価値を提供します。NVIDIAとTCSは、NVIDIA AI プラットフォーム上で、各業界に特化した革新的でバリューチェーン主導のソリューションや製品の構築に向けて協働してきました。その内容は以下のとおりです。

*contextual knowledge (コンテクスチュアル ナレッジ)：お客さまが置かれた様々な状況において適用すべき最適な知見

- 1. TCS Manufacturing AI for Industrials (製造業界向けAI)：**本サービスは、AIと大規模言語モデル (Large Language Model: LLM) を活用し、生データを製造業向けの実用的なインサイトに変換します。汎用 LLM には業界特有のビジネスに関するニュアンスを理解する能力に欠ける側面がありますが、TCS の Manufacturing AI for IndustrialsのLLM は、製造業界のビジネスに関する文脈的知識*、技術力、NVIDIA のアプリケーションフレームワークを活用し、業界特有の課題に適切に対処します。
- 2. TCS AI Spectrum for BFSI (銀行・金融・保険業界向けAIスペクトラム)：**本サービスは、LLM と AIを全社規模の銀行・金融・保険業務プロセスに導入する革新的で安全なアプローチを提供します。NVIDIA AI Enterpriseプラットフォーム上に構築されており、金融機関の意思決定の迅速化、規制コンプライアンスの向上、リスク管理の強化を実現します。
- 3. TCS Cognitive Visual Receiving (コグニティブな画像認識)：**本サービスは、NVIDIA AI Enterprise と Omniverse を基盤に構築した総合的で複合的なAI サービスであり、品質検査、製品の識別、測定、属性抽出を自動化することで、精度、効率、速度を向上させ、小売業の倉庫業務を変革します。

4. **TCS AI-Native Telco Offerings (TCS AIネイティブな通信業界向けオファリング)**: NVIDIA AI と NVIDIA Aerial Omniverse デジタルツインを基盤とするこのオファリングにより、通信事業者は、自律的なネットワーク異常管理、請求業務と収益の保証、3D ネットワークの視覚化、カスタマーエクスペリエンス(CX)の向上といったビジネス ニーズを満たすカスタマイズされた通信業界固有のモデルを迅速に構築できます。
5. **TCS AI-based Autonomous Vehicle Platform (AI主体の自動運転車開発プラットフォーム)**: TCS の IoT & デジタルエンジニアリング部門は、NVIDIA と連携し、シミュレーション用のOmniverseや、合成データ生成用のNVIDIA AI Enterprise といった生成 AI技術やディープラーニング技術を活用し、自動車の OEMやティア1サプライヤー向けのエンドツーエンドの自動運転機能の開発を加速させています。

NVIDIA ワールドワイドフィールドオペレーション担当 エグゼクティブバイスプレジデントの**ジェイ・プリ (Jay Puri)**氏は、次のように述べています。

「TCSの業界に関する深い専門知見とNVIDIAのAIテクノロジーの融合により、インテリジェントな企業変革の新時代が始まります。この度新設されたTCSのNVIDIA専門部門は、エージェントAIソリューションの構築ではNVIDIA AI Enterprise、フィジカルAIソリューションの構築ではNVIDIA Omniverseを活用し、AIによるシミュレーションを加速させ、インドおよび世界中でAI主導のイノベーションへの道を切り開きます」

TCS AI.Cloud (AIドットクラウド) ユニットヘッドの**シヴァ・ガネサン (Siva Ganesan)**は、次のように述べています。

「キュレート(curate)された AI 変革への道のりは、ディープドメインとディープテクノロジーの融合/交わる場所/が交差するところから生まれます。これは、TCS がビジネス変革のあらゆるサイクルにおいて優れた成果を上げてきた分野です。ビジネスとテクノロジーが融合したTCS独自の視点は、お客さまが適切な機会を特定できるようサポートします。革新的で効率的な NVIDIA AIプラットフォームと、当社の幅広い価値提供の対応範囲と実績により、お客さまはより迅速に価値を実現する手法を手に入れることができます」

TCS は、業界全体にわたる幅広い専門知見、グローバルにサービスを提供するケイパビリティ、さまざまなビジネスプロセスや業界固有の知識に対する深い理解をお客さまに提供します。TCS は、NVIDIA AI、**アクセラレーテッド・コンピューティング**、各種ソフトウェア、および開発プラットフォームを活用して、さまざまな業界固有のニーズに対応し、企業が AI の可能性を最大限に引き出せるよう支援します。

TCS 製造事業部門プレジデントの**アヌパム・シンガル (Anupam Singhal)**は、次のように述べています。

「製造業は、これまでにない精度を達成し、暗黙知にアクセスして業務を最適化し、意思決定を改善し、影響力のあるイノベーションを推進できるようになりました。これは、NVIDIAの技術力を駆使してLLM(大規模言語モデル)を活用し、TCS の製造業に関する深い専門知識で微調整/**された TCS の産業向け/業界向け製造 AI サービスによって実現することができます。TCS は、製造業界の企業が将来に備え、よりスマートで持続可能な未来に向けて変化をリードするために必要な変革的な AI ソリューションを提供することに注力しています」

NVIDIA との協働は、AIへの対応力を強化するとともに、NVIDIA の技術力を活用し、エンド・ツー・エンドでサービスを提供する専門ユニットを構築し、主要なお客さまに向けて組織全体の AI 変革を促進するという TCS の広範な取り組みの一環です。

NVIDIA エンタープライズ ソフトウェア担当バイスプレジデントの**ジョン・ファネリ (John Fanelli)**氏は、次のように述べています。

「工場、倉庫、ロボティクスは、大規模で物理的なAIイノベーションの礎になります。最先端の AIとシミュレーション機能を組み合わせることで、従来にはないインテリジェントな製造オペレーションの可能性が広がるでしょう」

TCS は、製造業がデジタル製造という次なる潮流に乗ることができるよう、NVIDIA Omniverseプラットフォーム上に構築された新しいデジタルツイン ソリューション パッケージの開発に取り組んでおり、これにより、製品

や生産設備の設計・シミュレーション・運用・最適化が可能になります。

1. **“未来の工場” (Factory of the Future)**: 仮想環境下のリアルタイムのプラント計画、監視、予測メンテナンスにより、ダウンタイムを削減し、市場投入の所要期間 (time-to-market) を短縮します。
2. **車載デジタルツイン**: Omniverseの物理学に基づいたシミュレーションを利用して自動運転車のシミュレーションを行うことで、物理テストの必要性を軽減します。
3. **航空機整備の効率向上**: 航空機部品のデジタルツインを作成します。没入型トレーニング、課題解決力の強化、早期の障害検知が可能になり、安全性向上と運用リスク軽減に寄与します。
4. **スマート農業デジタルツイン**: 土壌の相互作用、地形分析、気象条件など、現実世界の物理学を取り入れた農業シナリオシミュレーションにより、現代農業における機器のパフォーマンスを改善とともにプロセスを最適化し、持続可能性を向上させます。

以上

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のを50年以上に渡り支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを総合的に展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「**ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)**」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体である**タタ・グループ**の一員で、最高水準のトレーニングを受けた61万2,000人を超える人材を擁し、世界55カ国で事業を展開しています。2024年3月31日を末日とする会計年度の売上高は290億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスやFTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、www.tcs.comをご覧ください。